



# 夏のオススメ本紹介

## YA担当より

暑い夏。夏休みの予定でわくわくしている人も多いのでは？体調管理に気を付けて、楽しい夏を過ごしましょう！

暑さにつかれた時には…涼しい場所で読書なんていかがですか？

ぜひヤングコーナーに足を運んで、お気に入りの一冊を見つけてみてください。

①

「タンチョウは悪代官か？」

竹田津 実／作

あべ 弘士／絵

偕成社

YA書架 E ア



北海道の湿原で年に一度の裁判が始まります。この年訴えたのはヤチウグイ、訴えられたのはタンチョウです。

毎年、どんどん数をふやしているタンチョウは、餌であるヤチウグイをたくさん食べてしまいます。そのためヤチウグイの数は減っていき、このままでは絶滅してしまうと訴えたのです。

では、なぜタンチョウはこんなにふえていくのか・・・

なぜ湿原は半分になってしまったのか・・・この裁判をあなたはどう感じ、なにを思いますか？

どうぶつさいばんシリーズ第二作目。



②

「10代で知っておきたい「同意」の話 YES、NOを自分で決める

12のヒント」

ジャスティン・ハンコック／文

河出書房新社

YA書架 361 ハ



「同意」とは何か？言葉を調べれば、この言葉の意味はわかるでしょう。では、なぜ「同意」について知って考えるべきなのか、その重要さを教えてくれるのがこの本です。

自分にはあまり関係がないと思っても、日常的にいつどこでどんな「同意」について、「YES」か「NO」を伝えなければならぬかわからないのです。考えても、相手からどちらの返事ももらえない、自分が答えを出せないとしたら？そんな時、この本の12のヒントを少しでも頼りにしてほしいと思います。

③

「マイフラザー」

草野 たき／著

ポプラ社

YA書架 913 ク



「友達なし・目標なし・未来への希望なし」の中学生の海斗は、5歳の弟・総也の世話に追われる日々を送っていました。

保育園の同窓会で総也を理由に途中退席した海斗は、幼なじみから「総也の世話をすることで、いろんなことから逃げてないか？」と指摘されます。実はその通りで、海斗は家庭の事情から中学受験のやる気をなくし、文句も言えず、余計なことを考えなくてすむように総也の面倒を見ていたのです。

自分の心から逃げないために、幼い子どものように素直に自己主張することの大切さを教えてくれる一冊です。



④

「おどる詩あそぶ詩きこえる詩」

はせ みつこ／編

富山房インターナショナル

YA書架 911 オ



「ねみゆいにやら にーみゃも ねむにえ によーもねみゆ」  
（「どうぶつはいくあそび」より）

この俳句の主人公は誰だと思いませんか？なんとやっているのでしょうか？言葉とは、こんなに自由なものなのか、と思える詩集です。有名な詩人の詩もありますが、4歳の子どもの詩もあります。どちらが面白いと感じるでしょうか？どんなに大人が頑張っても4歳のつぶやきには、勝てないみたいです。



YAとは…ヤングアダルトの略で、「子どもでも大人でもない世代」のこと。13歳から19歳くらいが主な対象です。

佐賀市立図書館